

# 東京都週報

41週(10月9日～10月15日)

発生動向総覧(東京都)・調査票通信  
全数届出患者数一覧表  
定点報告疾患集計(男女別)  
年齢階級別累計表・保健所別累計表  
感染症発生動向調査年次比較折れ線グラフ

事務局 東京都立衛生研究所疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

E-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス：www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



## 発生動向総覧 ( 東京都 )

41週分

## ( 全数情報 )

細菌性赤痢 4件は患者2件、無症状病原体保有者2件である。菌型はソンネ2件、フレキシネル2件である。推定感染地域は中国2件、インドネシア1件、タイ・カンボジア1件である。中国2件はツアー同行者である。40週を含め、中国への同一ツアー同行者で4件の細菌性赤痢の届出があった。菌型は、いずれもフレキシネルである。腸管出血性大腸菌感染症は3件である。いずれもO157でVT2が1件、VT1+VT2が2件だった。すべて有症状である。届出件数は先週より3件少なく、減少傾向である。アメーバ赤痢1件は、国内での同性間性的接触による感染が推定されている。デング熱1件は、フィリピンでの感染が推定されている。破傷風が1件届出された。路上生活をしていた66歳男性で、開口障害と筋痙攣があり、開放膿培養にて診断された。破傷風の予防には、外傷後の創傷部位の郭清と破傷風トキソイド投与などが重要である。マラリア2件は、三日熱マラリア1件 (推定感染地 :インド・ネパール・タイ) と熱帯熱マラリア1件 (推定感染地 :ギニア) である。

38週に都内で国内発生のコレラが1件届出されたが、全国の38週には本例を含め6件の国内発生が報告されている。広域散発の可能性もあり、今後の発生状況に注意する必要がある。

(推定される感染地域は、医師の届出によるものです。)

## ( 定点情報 )

減少傾向にあるが手足口病、流行性耳下腺炎の報告はいぜん高めで推移している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎の今後の経過を注目したい。

## ( 病原体情報 )

- ・無菌性髄膜炎の咽頭ぬぐい液、髄液からエコ - ウイルス30、16、9型が分離されている。
- ・気管支炎の咽頭ぬぐい液からRSウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・肺炎の生後1カ月の小児の咽頭拭い液からコクサッキー - ウイルスB3型が検出されている。
- ・先週報告された劇症型溶血性レンサ球菌感染症から分離された菌株の血清型はG群であった。
- ・尿道炎の患者の尿道分泌物から髄膜炎菌が分離され、その血清型はB群であった。
- ・先週報告されたコアグラ - ゼ産生量の少ないIMRSA (コアグラ - ゼII型) が、同じ医療機関の他の検体からも引き続き分離されている。

## ( その他の情報 )

- ・髄膜炎、上下気道炎の検体搬入が多い。
- ・感染性胃腸炎の集団発生の検体が搬入された。

## 調査票通信

各保健所から集められたコメントを掲載

## 世田谷区

- ・2歳の手足口病患者の両親が同じ病気に罹患した。
- ・水痘症の1歳児は姉(8歳)が10日前に带状疱疹に罹患。

## 調布市

手足口病の1歳11ヶ月の男児について、市内保育園在園。第1回目9月25日典型的罹患、当院にて診度のため経過を数日診て登園証明書を出す。10月10日(第1回目より約18日後)再び手足口病として来院。今回は口内ヘルペスは認めず。ただ、臀部、手掌、足底に細かい水疱あり、短い期間に同一疾病に繰り返し罹患した。

## 全数届出患者数一覧表 平成12年41週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		38週	39週	40週	41週	41週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	コレラ	1				
	細菌性赤痢	9	5	5	4	10
	ジフテリア					
	腸チフス	1	1			
	パラチフス		1			1
三類	腸管出血性大腸菌感染症	13	9	6	3	62
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢		2	3	1	2
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	3	3	3		8
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回帰熱					
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1
	後天性免疫不全症候群	7	6	9	3	7
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1				
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					
	デング熱	1			1	1
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	2	2	2	2	2
	破傷風				1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
	マラリア		1	2	2	2
	ライム病					
レジオネラ症						

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(10/20)

## 定点報告疾患集計（男女別）

疾患名	性	平成12年 週				累計
		38	39	40	41	
不明発疹症	男	4	6	4	5	19
	女	6	6	2	4	18
MCLS	男	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	1	1
インフルエンザ	男	2	0	0	1	3
	女	2	0	0	1	3
咽頭結膜熱	男	10	9	2	2	23
	女	1	6	4	2	13
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	男	11	20	28	19	78
	女	18	13	19	20	70
感染性胃腸炎	男	127	122	149	127	525
	女	100	108	111	123	442
水痘	男	22	22	25	22	91
	女	15	24	20	17	76
手足口病	男	116	105	93	93	407
	女	110	74	95	67	346
伝染性紅斑	男	7	10	3	5	25
	女	11	7	2	13	33
突発性発疹	男	52	39	31	34	156
	女	37	33	42	28	140
百日咳	男	2	0	0	2	4
	女	3	1	1	3	8
風疹	男	2	1	1	2	6
	女	3	5	0	1	9
ヘルパンギーナ	男	28	18	15	16	77
	女	28	25	13	12	78
麻疹(成人以外)	男	2	7	6	2	17
	女	2	7	6	1	16
流行性耳下腺炎	男	40	72	49	43	204
	女	30	62	50	48	190
急性出血性結膜炎	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	男	19	19	16	9	63
	女	16	14	16	13	59

「累計」覧は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです

年齢階級別累計表（平成12年41週）

	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
～6ヶ月						6				5							
～1歳	1				1	20	4	9	1	37	3	1	1		1		
1歳	2					27	10	30	5	17	1		3	2	2		1
2歳				1		19	6	28	2	2			4	1	6		1
3歳	2	1		1	2	21	9	29	3		1	1	2		17		
4歳	4			1	5	22	1	22	2	1			2		16		1
5歳					6	20	6	20	1				6		11		
6歳					8	22	1	11					1		14		
7歳					5	10		3	3				1		8		
8歳				1	5	7	1	1	1				1		4		
9歳					2	12		1							1		
10～14歳					2	19		3					2		4		
15～19歳						8									3		4
20～29歳					3	37	1	3				1	5		4		1
30～39歳																	6
40～49歳			1														4
50～59歳			1														3
60～69歳																	1
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	9	1	2	4	39	250	39	160	18	62	5	3	28	3	91	0	22
先週比	3	1	2	-2	-8	-10	-6	-28	13	-11	4	2	0	-9	-8	0	-10

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (平成12年 41週)

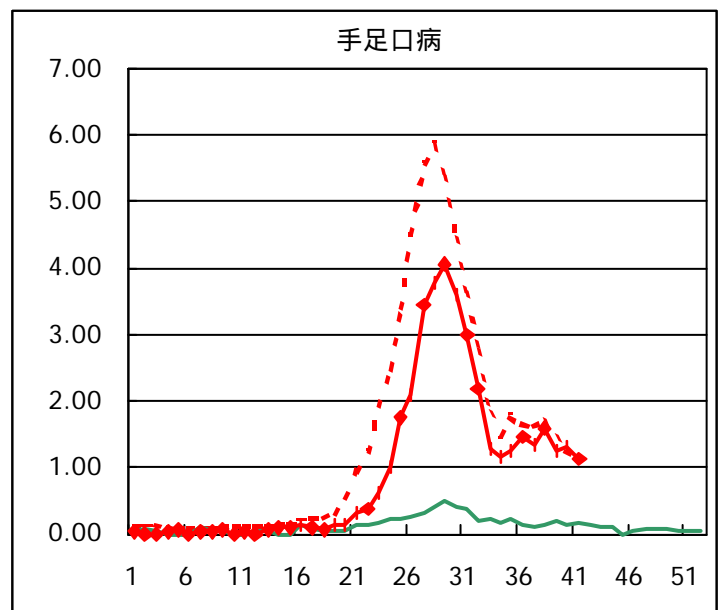
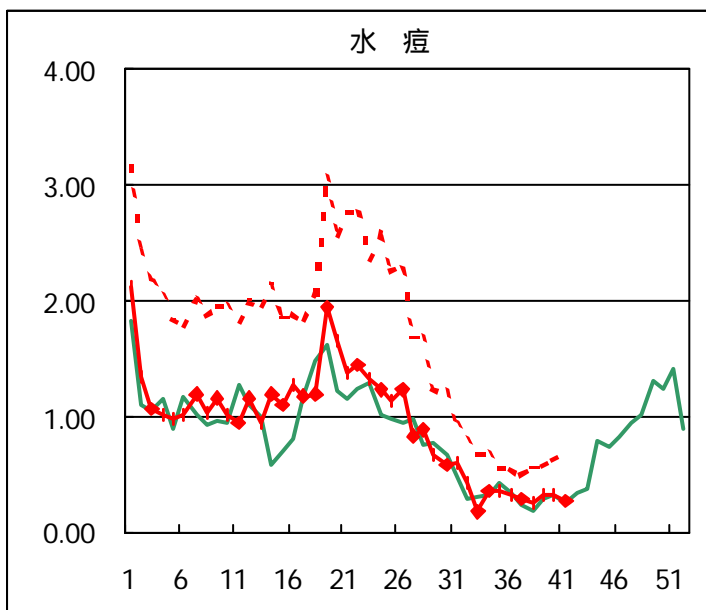
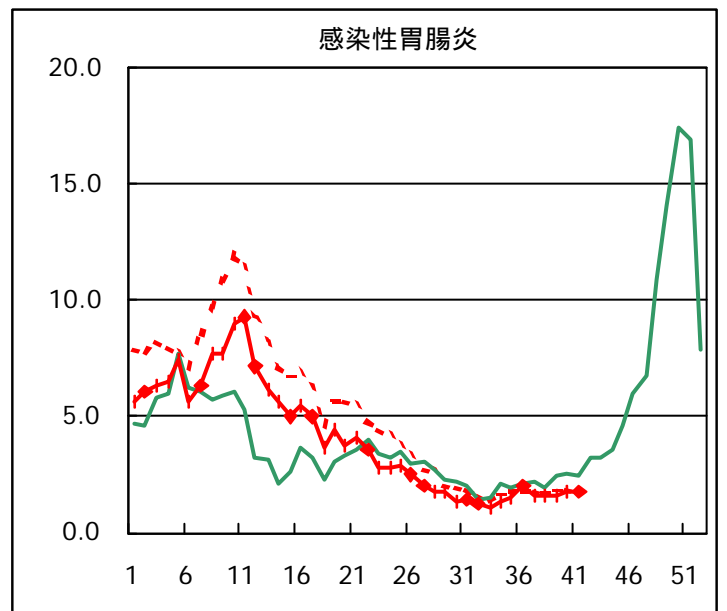
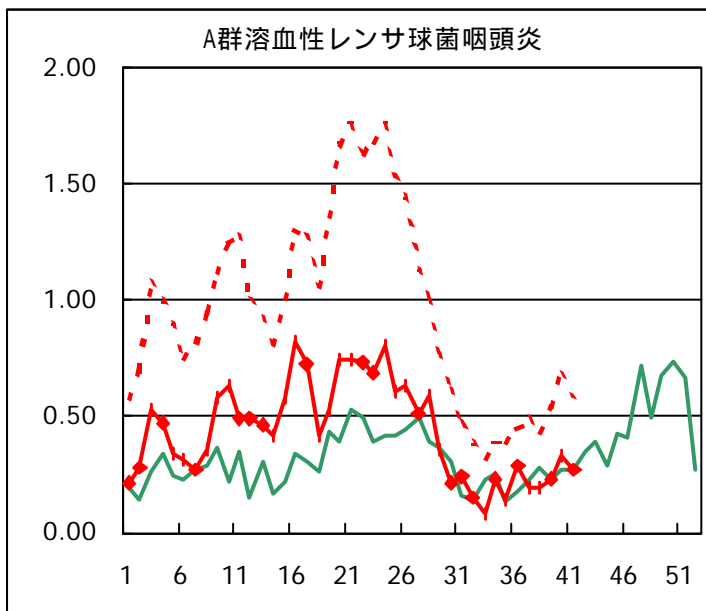
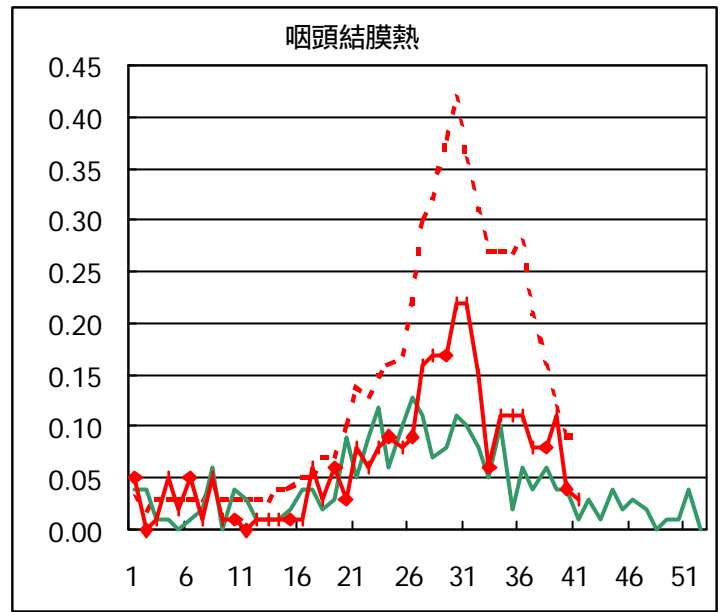
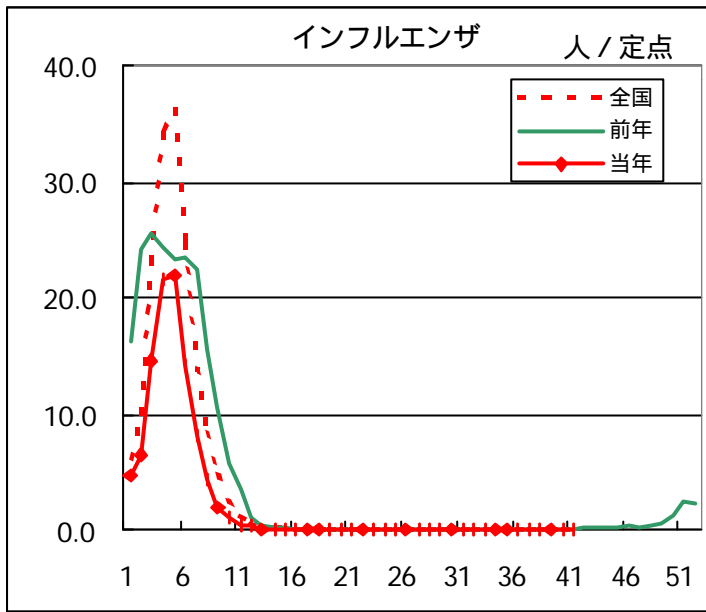
	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
中央	1				1			1	4									7
日本橋																		0
文京					1	11	1	5		1					1		1	21
本郷																		0
向島						1									2			3
本所						2	1			1					1			5
江東区	1					5	1	2										9
深川					2	2	1	1		3							4	13
世田谷					2	10	3	7		3					5			30
渋谷区						5		3		2					2			12
池袋						1		1					1				3	6
長崎								5	1						2			8
荒川	1							1	3	1					2		3	11
足立					1	11				4					9			25
千住																		0
葛飾					1	7	14	7	1				2	1	1			34
江戸川	1					21		3		1			1					27
小岩						1			1						1			3
台東					3	7		4		1					10			25
目黒区						2	1	3	2	2								10
大田区	3				1	22		22	1	8	1		2		3		2	65
杉並					1	5	1	3		3					2			15
北区					2	3	2	19		4			1		9			40
板橋区						4		4		1					2			11
みなと								4							4			8
中野区						19	2	2		3			1	1	1			29
新宿区					3	13	2	4							3		2	27
品川区	1					4		4		4	1		1		2			17
千代田								2							2			4
練馬区			2		4	9	3	18	1		3				9			49

保健所別累計表 (平成12年 41週)

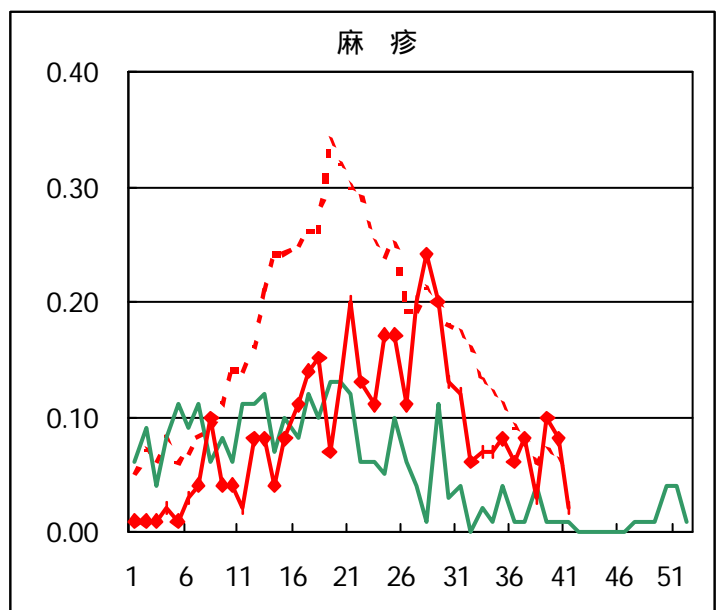
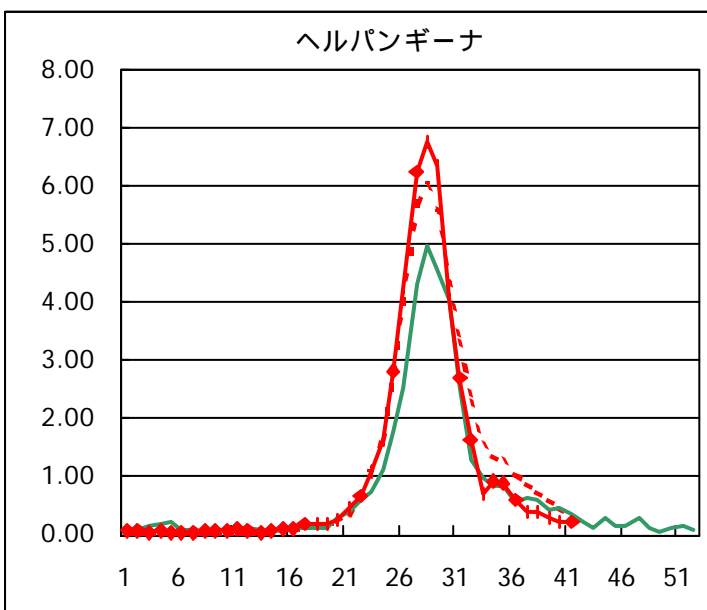
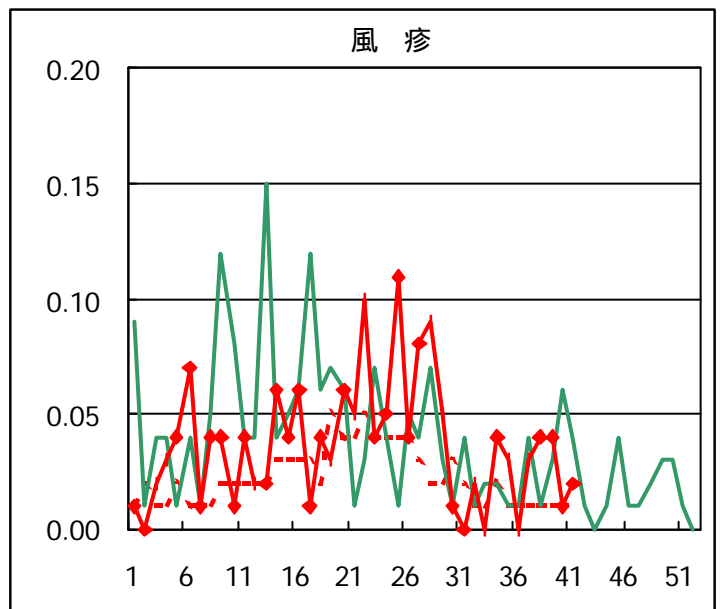
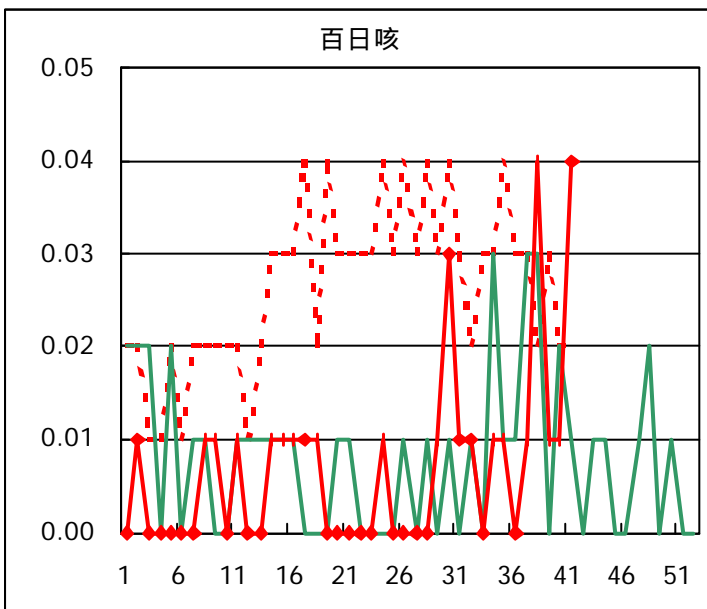
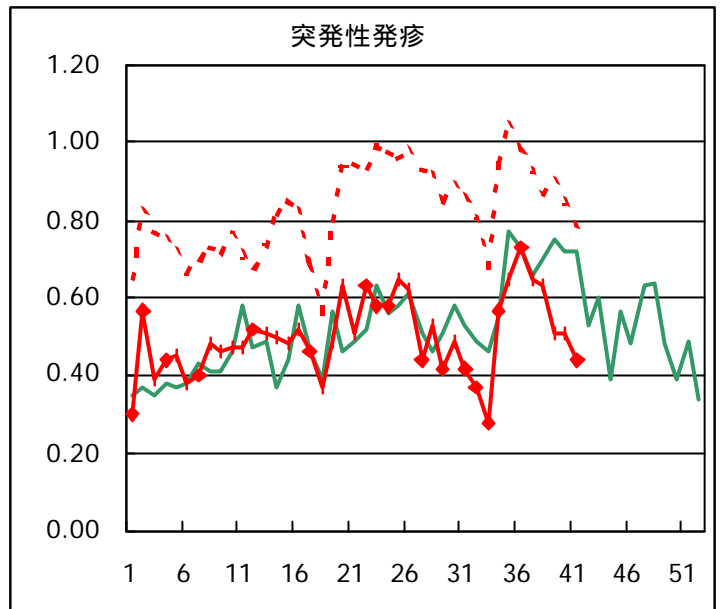
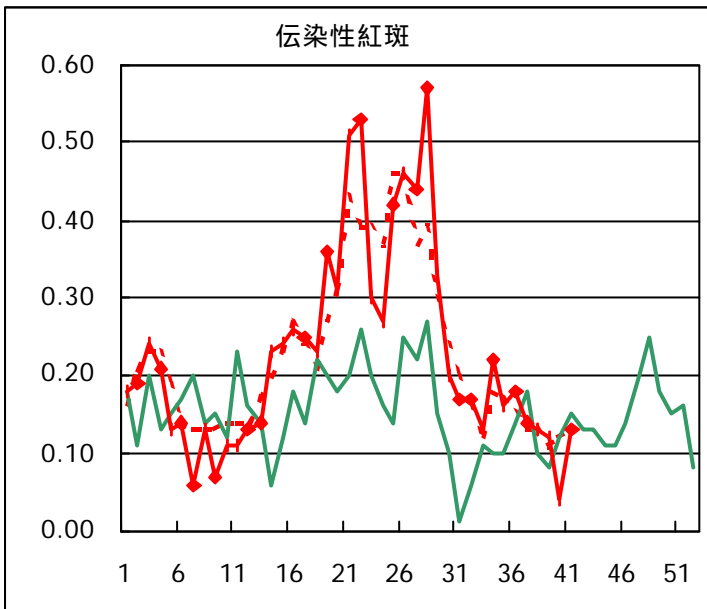
	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
八王子						6	1	2		1					3		1	14
町田					2	15		5		2			4				1	29
島しょ																		0
多摩川					2	3	3			4		2	3	1				18
秋川				3	3	16		12	1	4			1		6			46
南多摩		1			1	16		5	1	2			9		4			39
多摩立川					2	7	1	1					1					12
村山大和	1						1	2				1			1		3	9
府中小金井							1	3	1	2					1			8
狛江調布				1		5		1		2								9
三鷹武蔵野						2		1		1					2		2	8
多摩小平					2	8		2		1			1		1			15
多摩東村山					5	7		1	1	1								15

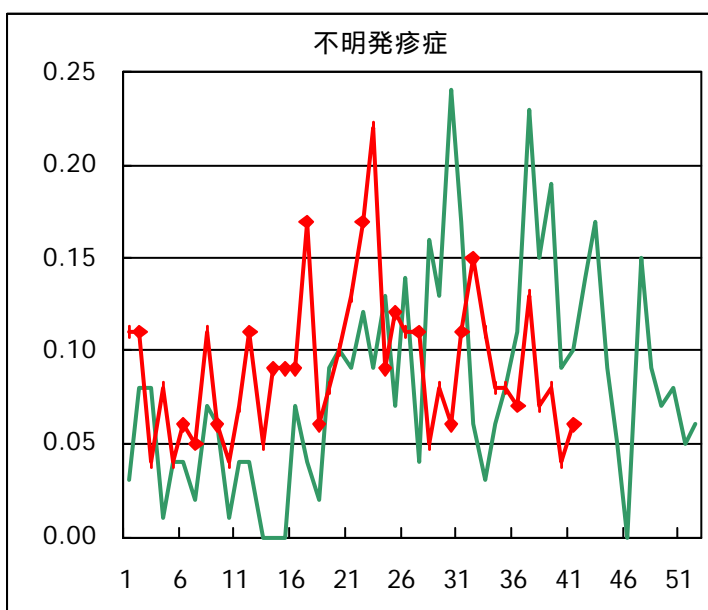
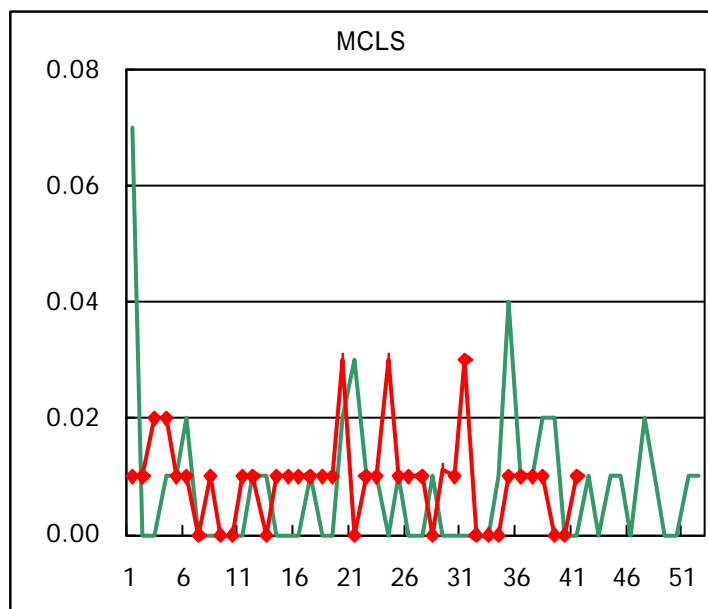
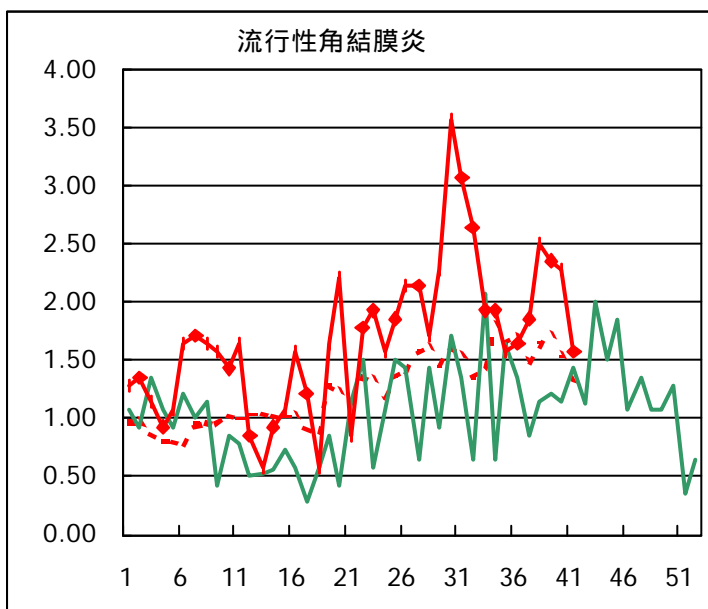
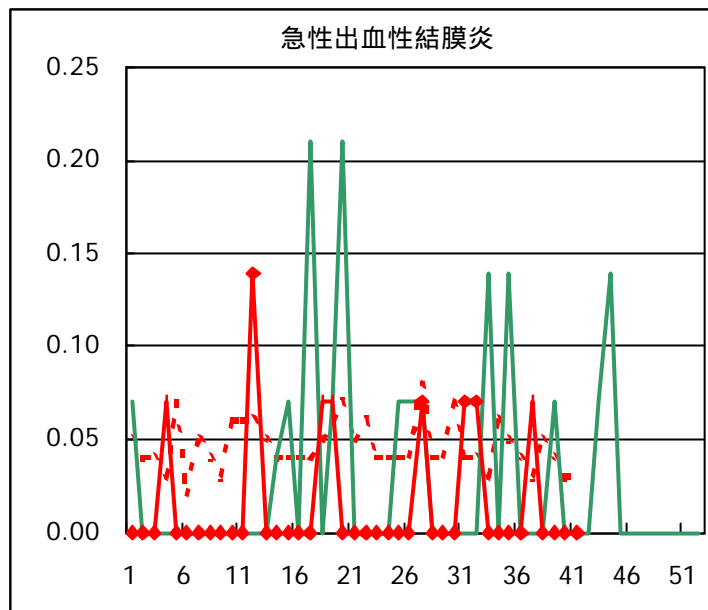
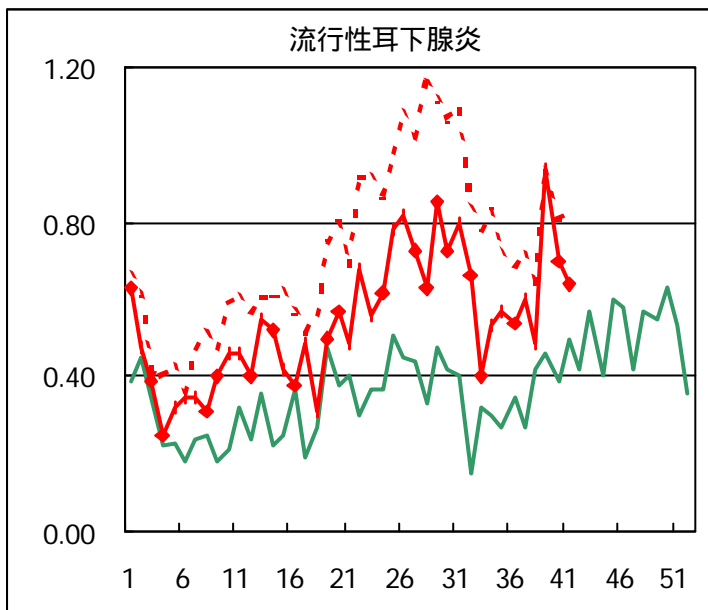
東京都合計	9	1	2	4	39	250	39	160	18	62	5	3	28	3	91	0	22	736
定点当り報告数	0.06	0.01	0.01	0.03	0.27	1.76	0.27	1.13	0.13	0.44	0.04	0.02	0.20	0.02	0.64	0.00	1.57	5.18

# 疾病別グラフ





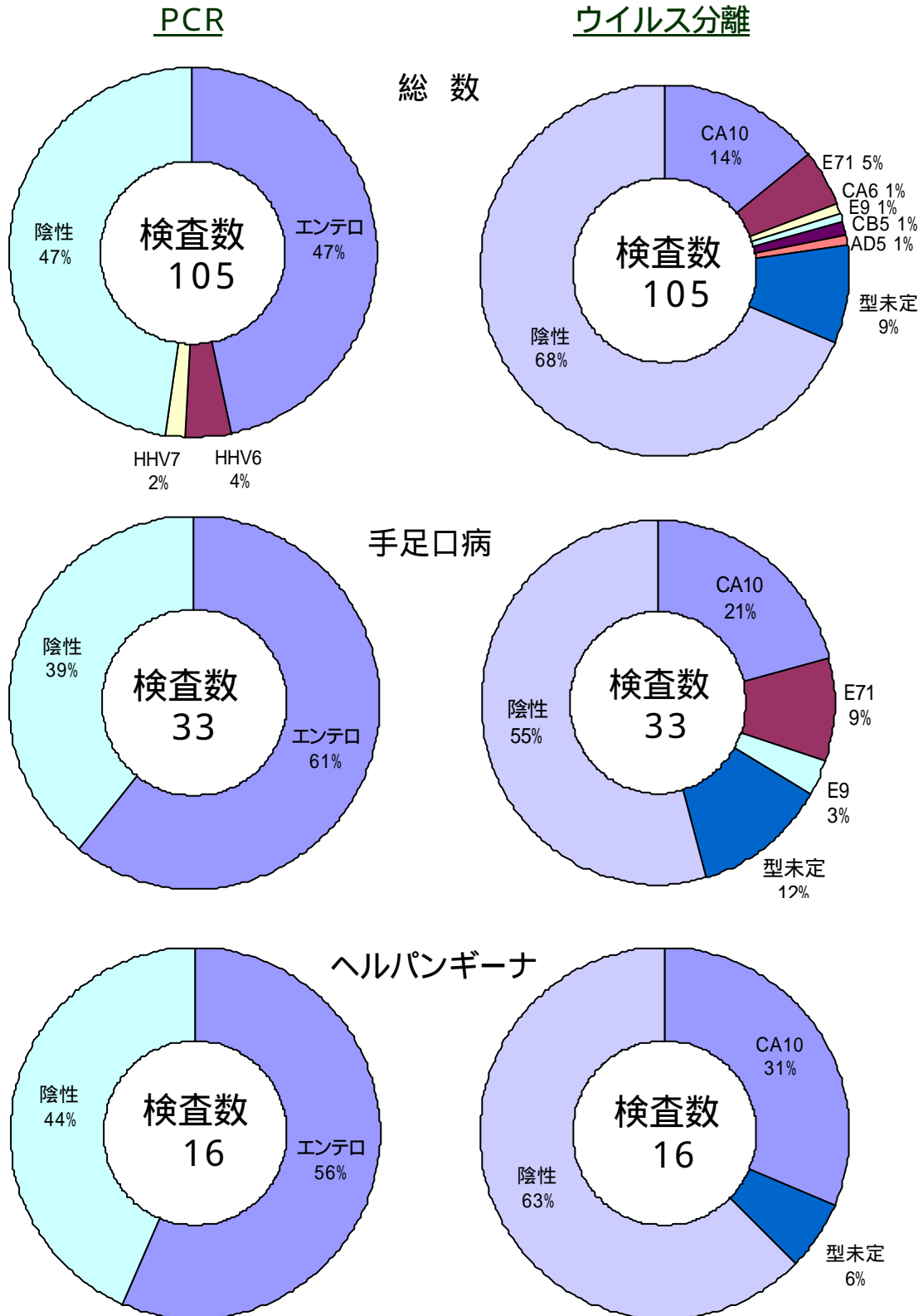




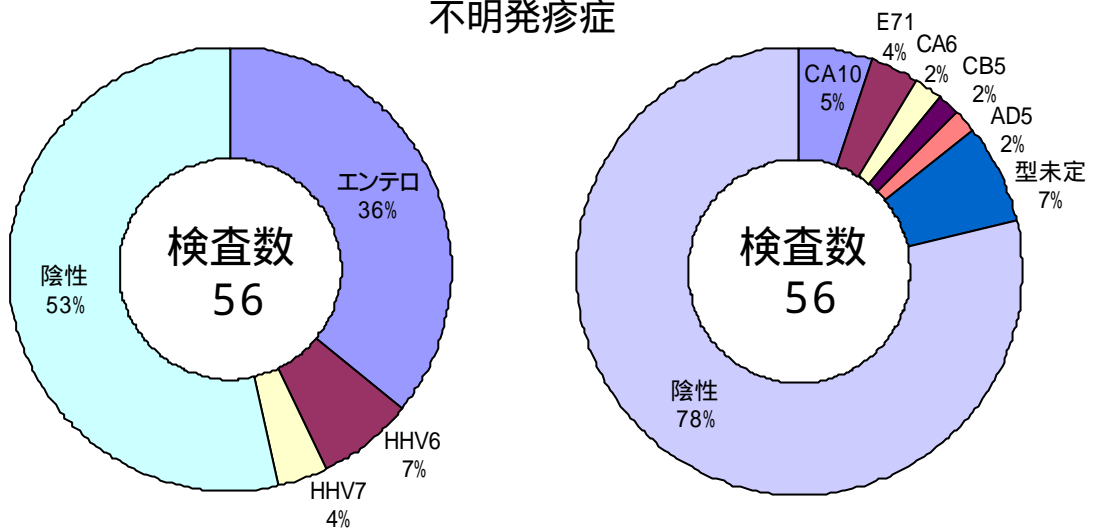
疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
上記を除く疾病	142

感染症発生動向調査調査におけるウイルス検索結果中間のまとめ  
(2000年4月～9月20日)

発疹症疾患患者からの検索結果



### 不明発疹症



### 発疹症疾患患者からの検索結果

臨床診断名	検査数	PCR陽性例*			ウイルス分離陽性例**						
		エンテロ	HHV6	HHV7	CA10	E71	CA6	E9	CB5	AD5	型未定
手足口病	33	20			7	3		1			4
ヘルパンギーナ	16	9			5						1
不明発疹症	56	20	4	2	3	2*	1		1	1	4
計	105	49	4	2	15	5	1	1	1	1	9

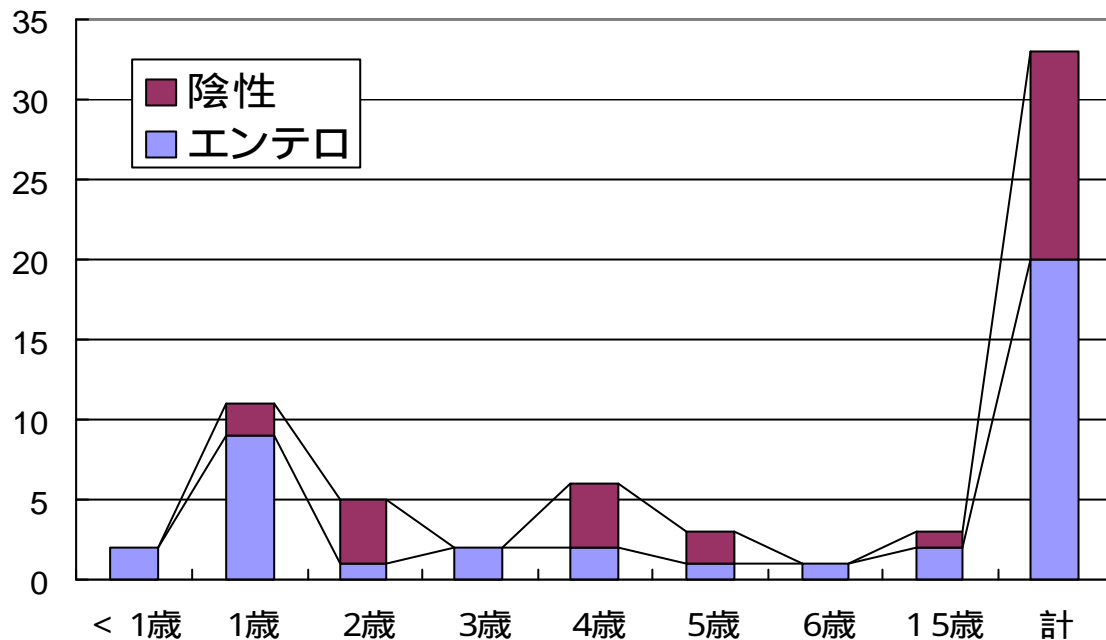
\* エンテロ :エンテロウイルス共通遺伝子、HHV6 :ヒトヘルペス6型ウイルス、HHV7 :ヒトヘルペス7型ウイルス  
 \*\* CA10 :コクサッキーA群10型ウイルス、E71 :エンテロ71型ウイルス、CA6 :コクサッキーA群6型ウイルス  
 E9 :エコー9型ウイルス、CB5 :コクサッキーB群5型ウイルス、AD5 :アデノ5型ウイルス

### 手足口病患者の年齢別検索結果

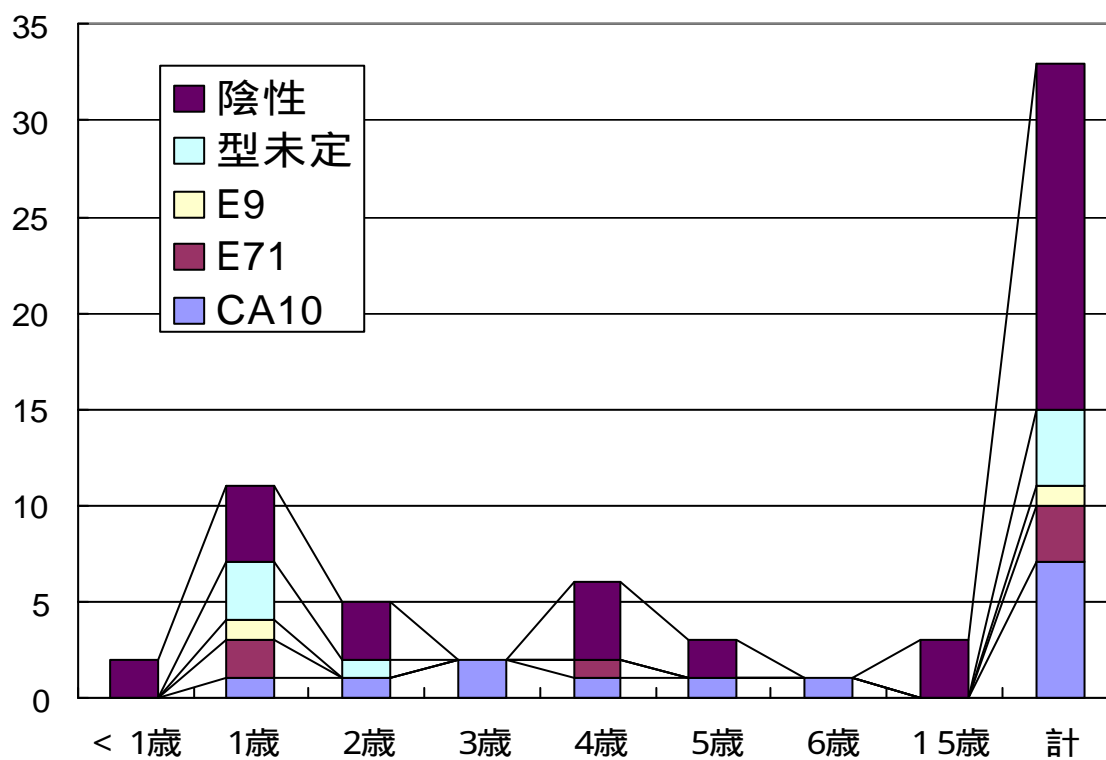
年齢	件数	PCR		ウイルス分離			
		エンテロ	CA10	E71	E9	型未定	
< 1歳	2	2					
1歳	11	9	1	2	1	3	
2歳	5	1	1			1	
3歳	2	2	2				
4歳	6	2	1	1			
5歳	3	1	1				
6歳	1	1	1				
15歳	3	2					
計	33	20	7	3	1	4	

## 手足口病患者の年齢別検索結果

### PCR



### ウイルス分離



(東京都立衛生研究所微生物部ウイルス研究科の検査結果に基づく)

## 感染症一口メモ

### 幼稚園における腸管出血性大腸菌感染症の調査について

平成12年9月11日、腸管出血性大腸菌感染症(O157)患者家族の検便検査の結果、幼稚園に通園している幼児(5歳)が無症状保菌者であることが判明し、9月12日に幼稚園で関係者調査を実施した。

幼稚園のトイレについて、5歳児は5歳児用のトイレ(1つ)を使用し、4歳児および3歳児との共用はない。給食は、希望者(約10名)のみへの提供で、幼児は弁当持参だった。また、当該幼児は幼稚園での排便はなかった。

幼稚園は、5歳児(約35名 2クラス)、4歳児、3歳児の合計約200名であり、9月14日から20日までの間、希望者に検便を実施した。内訳は、3歳児47人、4歳児66人、5歳児70人と職員15人である。検査結果は198人の全員が陰性だった。

腸管出血性大腸菌感染症では、保菌者が排菌量の少ない無症状で、しかも上に述べたように保菌者と非保菌者間で濃厚な接触が無い場合には二次感染が起きる可能性は低いと考えられる。